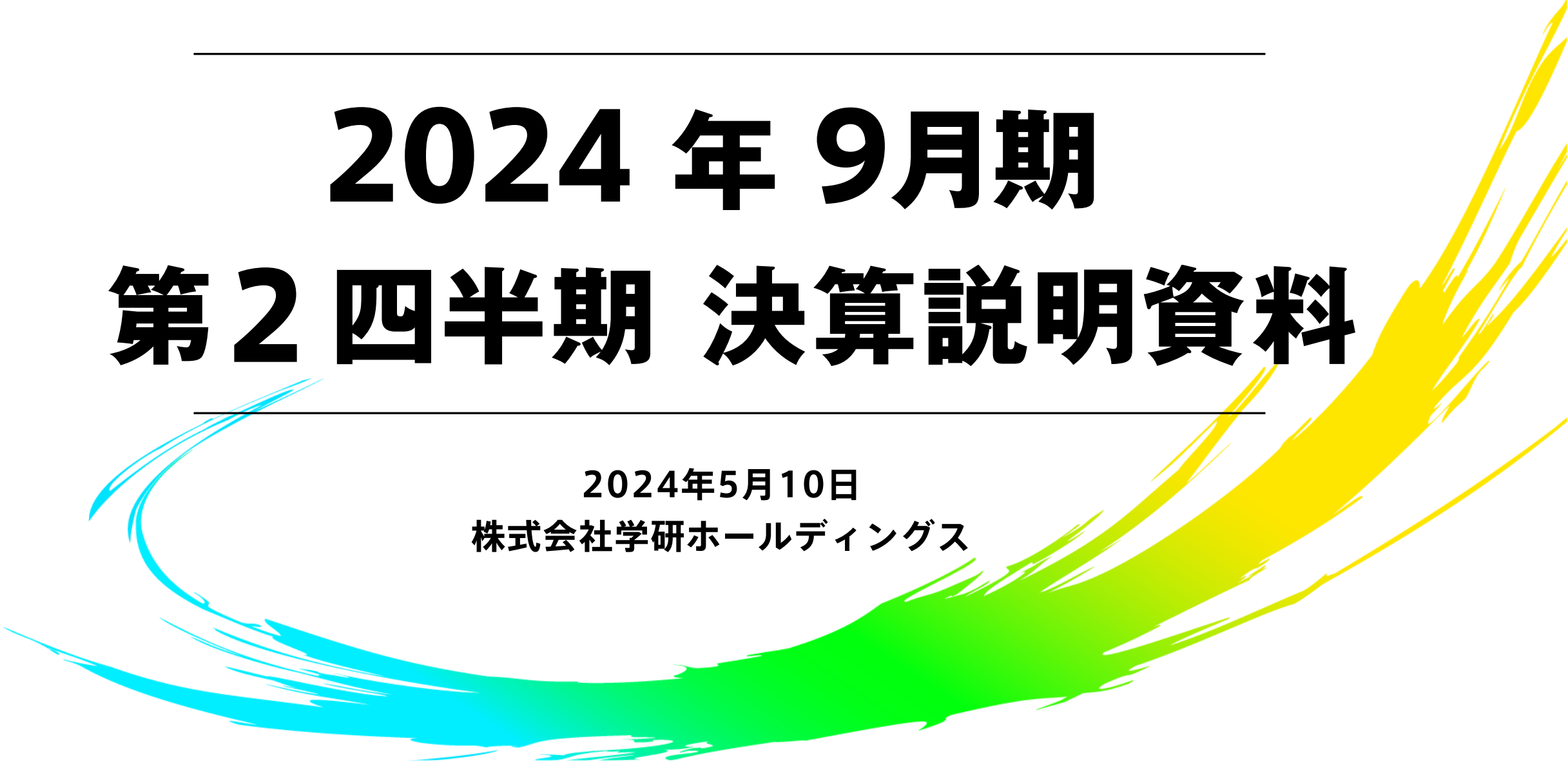

2024 年 9 月期 第 2 四半期 決算説明資料

2024年5月10日
株式会社学研ホールディングス



INDEX

2024年9月期 第2四半期決算概要 (含、資本コストと株価を意識した経営の実現)	…… P.04
教育分野 業績	…… P.10
医療福祉分野 業績	…… P.15
「Gakken2025」進捗	…… P.17
決算補足資料	…… P.31

2024年9月期 第2四半期決算（累計） エグゼクティブサマリー

～第2四半期（累計）では前年に対し増収増益、特に利益面で大幅改善～

売上高

935.0 億円

前期比 +15.2% ↑

営業利益

51.4 億円

前期比 +59.4% ↑

経常利益

51.5 億円

前期比 +57.8% ↑

四半期純利益

17.7 億円

前期比 +43.1% ↑

連結売上高：医療福祉分野の伸張と、小学校向け教科書の改訂、市進ホールディングス等の連結化により前年同期比15.2%増収

営業利益：教室事業、出版事業は厳しさ続くも、医療福祉分野並びに、利益率が高い語学・社会人教育事業、学校教育事業の伸張により同59.4%増益

経常利益：営業利益増に加えて為替差損の減少で同57.8%増益

四半期純利益：1Qで株式売却損（10億円）があったものの、上記増益により同43.1%増益

ROE改善策：総額20億円の自社株買い実施（2月完了）

中計進捗：中計テーマである『SHIFT』は各領域で進捗中

2024年9月期 第2四半期 決算概要

2024年9月期 第2四半期決算 連結業績サマリー

売上高

935.0 億円
前年同期比
+15.2% ↑

医療福祉の好調と市進ホールディングス等の連結化により増収

営業利益

51.4 億円
前年同期比
+59.4% ↑

医療福祉分野、語学・社会人教育事業、小学校教科書改訂が寄与

経常利益

51.5 億円
前年同期比
+57.8% ↑

持分法投資利益の減少あるも、営業利益増および為替差損の減少により増益

EBITDA*1

70.9 億円
前年同期比
+52.1% ↑

営業利益増に加えて償却額も増加

四半期純利益*2

17.7 億円
前年同期比
+43.1% ↑

前年同期比増加も、株式売却損があり、増益率は減少

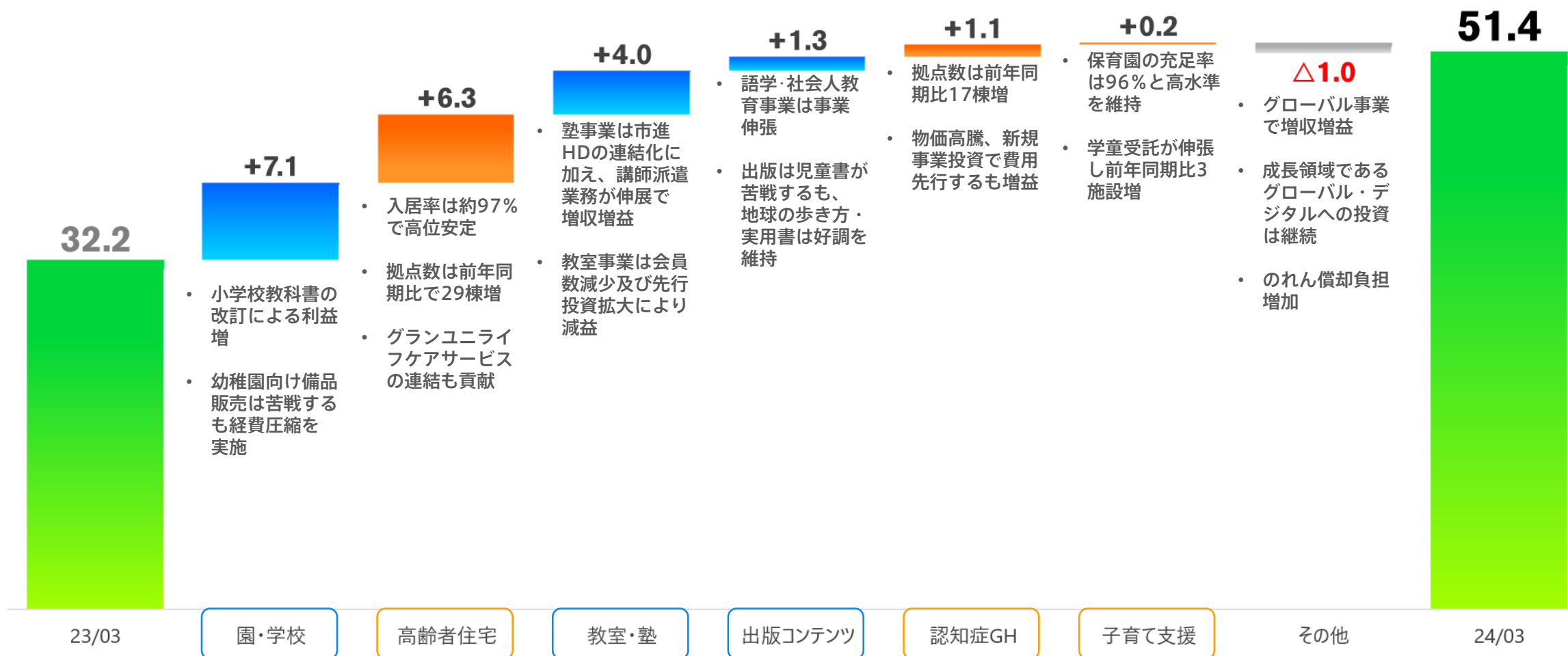
*1 営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算

*2 親会社株主に帰属する四半期純利益

営業利益 増減分析

単位：億円

教育分野は小学校教科書改訂並びに語学・社会人教育がけん引、医療福祉分野は高齢者住宅事業が増益確保



2024年9月期 第2四半期 セグメント別業績

単位：億円

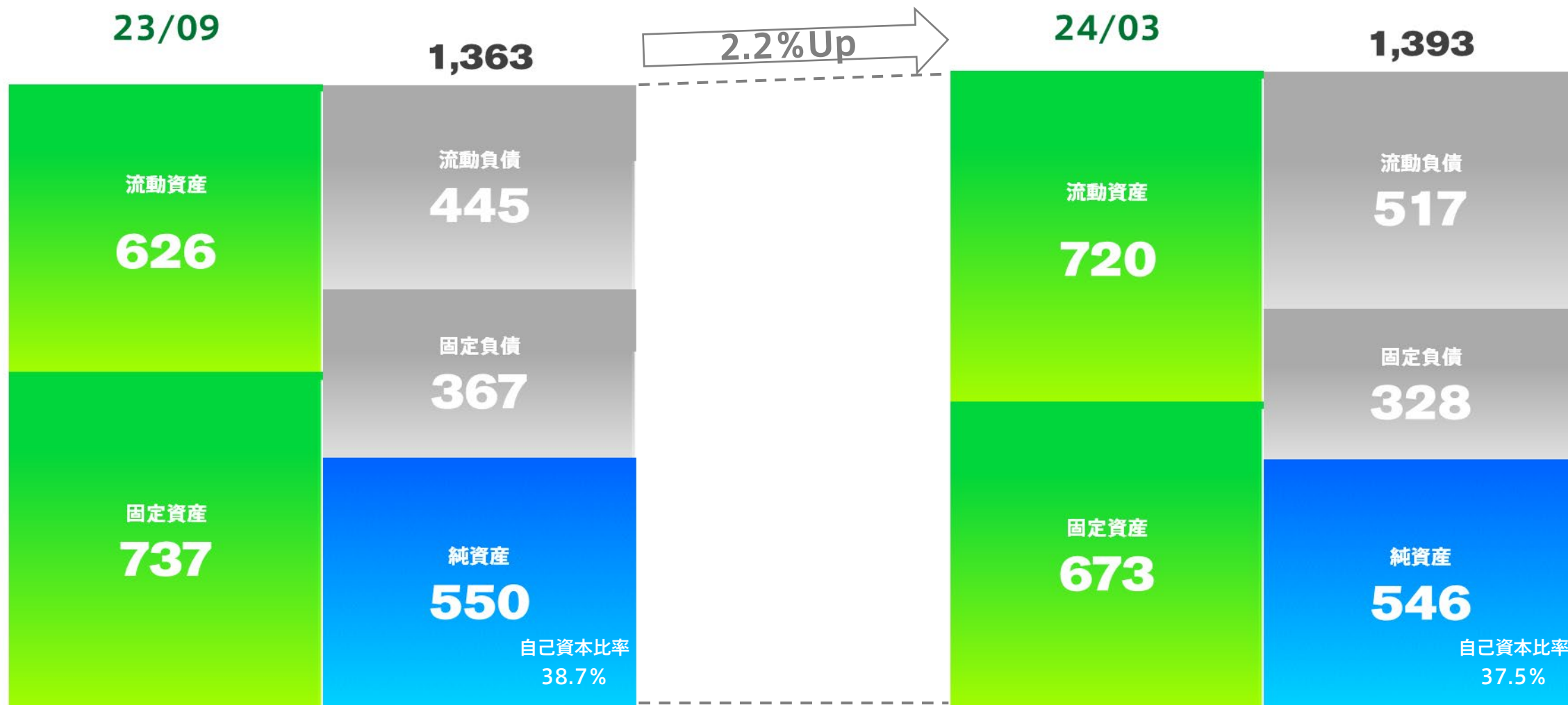
セグメント 事業	2023年9月期	2Q実績	2024年9月期	2Q実績	増減 (対前期)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
教育分野	401.8	25.5	481.7	36.7	+79.8	+11.2
教室・塾	186.8	11.0	272.3	15.0	+85.4	+4.0
出版コンテンツ	138.8	11.1	130.5	12.4	-8.3	+1.3
園・学校	76.0	4.1	78.8	11.3	+2.7	+7.1
のれん	—	-0.8	—	-2.1	—	-1.3
医療福祉分野	380.8	13.7	421.4	21.0	+40.6	+7.2
高齢者住宅	174.2	4.5	200.6	10.9	+26.3	+6.3
認知症グループホーム	175.9	10.8	186.4	12.0	+10.5	+1.1
子育て支援	30.6	0.6	34.3	0.8	+3.7	+0.2
のれん	—	-2.3	—	-2.7	—	-0.4
その他	29.0	2.9	31.8	2.8	+2.7	-0.1
調整額	—	-10.0	—	-9.2	—	+0.8
グループ合計	811.7	32.2	935.0	51.4	+123.3	+19.1

単位未満は切捨て

連結財政状態

単位：億円

季節要因から運転資本が増加するも、投資有価証券を中心に固定資産を削減し、総資産は2.2%の上昇に留まる
自社株買い実施するも、自己資本比率は37%以上を維持

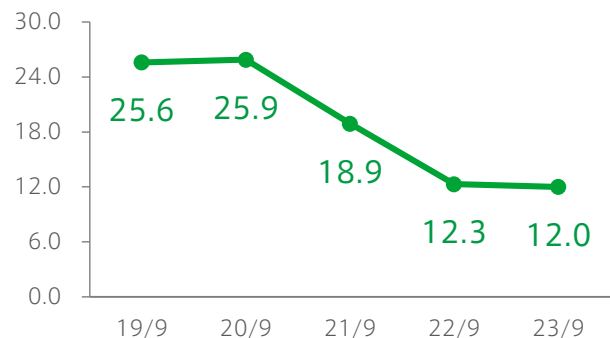


単位未満は切捨て

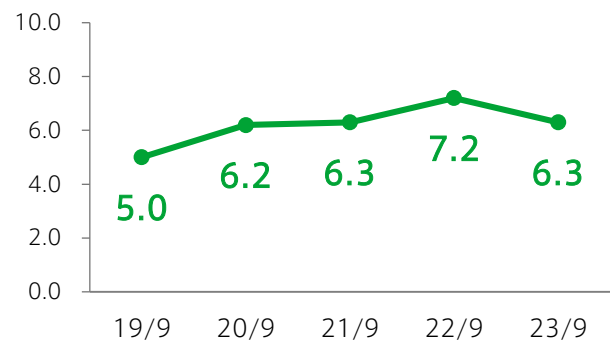
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

PER・ROEの向上へ

PER (倍)



ROE (%)



成長戦略の着実な実行

新規事業開発の加速

グローバル(東南アジア)、リカレント・リスキリング領域、介護周辺事業への積極投資の継続

グループ収益の柱を構築する戦略的M&A

グループのトランスフォーメーションと成長に資するM&Aを戦略的に実施

資本効率向上

ポートフォリオの整理・転換

不採算事業のモニタリング、成長領域へのリソースシフト

資本コストを意識した成長投資、M&A

WACCやIRRを意識した投資判断

株主還元

配当・自社株取得

配当性向30%以上、機動的な自社株取得実施

教育分野 業績

幅広く子どもたちの学習を支援する3事業を展開。社会人向けのサービスも拡充しています。

- 1)教室・塾事業…………… 日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営
- 2)出版コンテンツ事業… 児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等の制作・販売
- 3)園・学校事業…………… 幼保園等への物販や教科書・学校向け教材の制作・販売

教育分野 サブセグメント及び事業構成の見直し

旧：2023年9月期まで

新：2024年9月期から

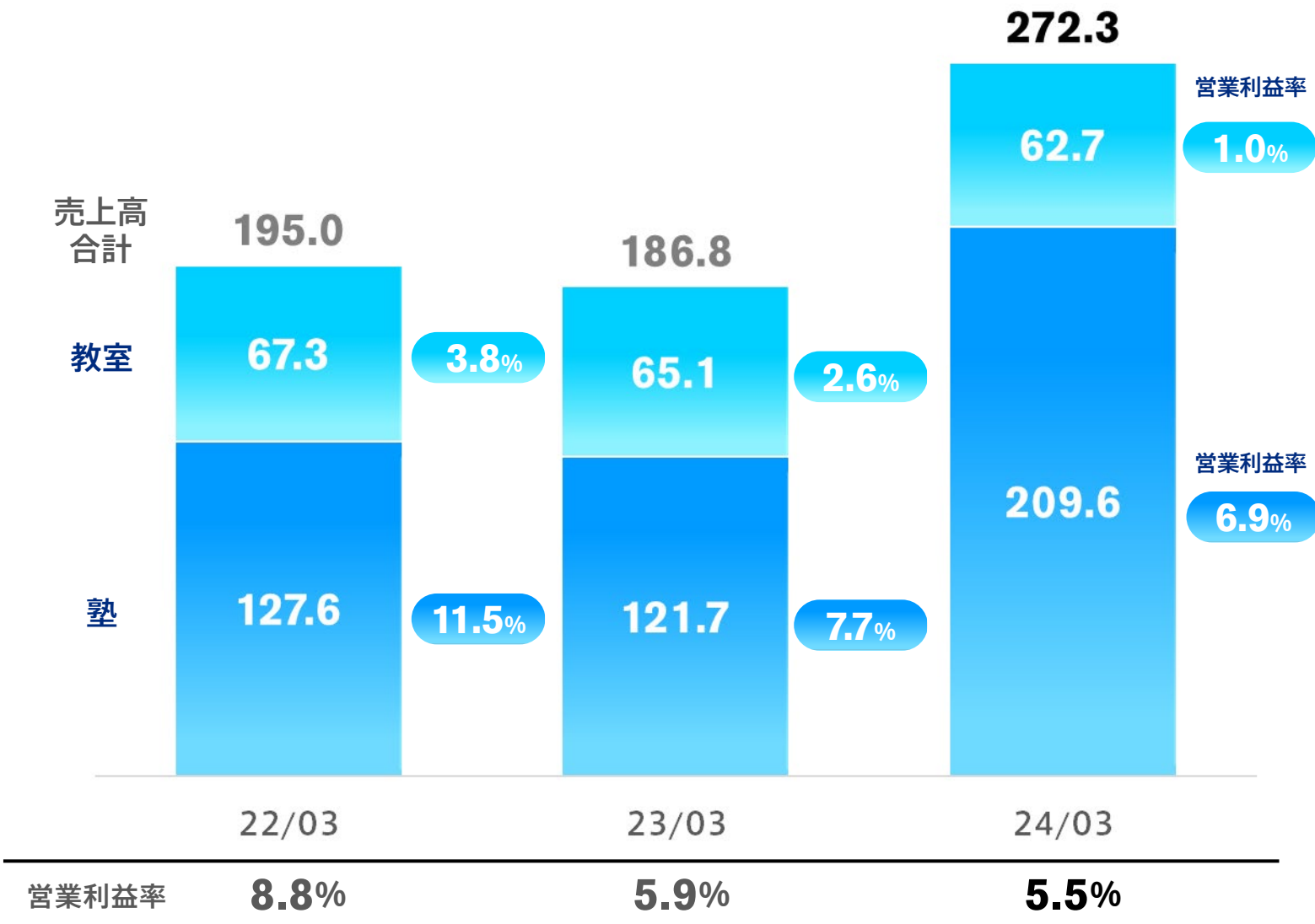
セグメント	サブセグメント	主な事業
教室・塾	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教室・学研教室事業 ・ 教室向けデジタルサービス運営
	塾	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塾運営事業 ・ ViSC運営
出版コンテンツ	出版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般出版事業 (児童書・学参書・実用書・地図ガイドほか) ・ 塾向け出版事業
	出版以外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験型英語施設運営 ・ オンライン英会話事業 ・ (株)学研ステイフル 知育玩具事業 →2023/9期 4Qより持分法適用関連会社に変更
	医学看護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門書出版事業 (医書・看護書) ・ 看護師eラーニング事業
園・学校	幼児	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園向け物販事業
	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中教科書事業 ・ 高校向け小論文添削事業 ・ その他学校向けサービス各種
	社会人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業向け研修事業

セグメント	サブセグメント	主な事業
教室・塾	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教室・学研教室事業 ・ 教室向けデジタルサービス運営
	塾	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塾運営事業 ・ ViSC運営 ・ 市進ホールディングス* ・ 塾向け出版事業
出版コンテンツ	出版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般出版事業 (児童書・学参書・実用書・地図ガイドほか) ・ 専門書出版事業 (医書・看護書)
	NEW 語学・社会人教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師eラーニング事業 ・ オンライン英会話事業 ・ 体験型英語施設運営 ・ 企業向け研修事業
園・学校	幼児	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園向け物販事業
	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中教科書事業 ・ 高校向け小論文添削事業 ・ その他学校向けサービス各種

*市進ホールディングスの介護サービス事業は医療福祉分野認知症グループホーム事業から移管

教室・塾事業* 第2四半期業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・市進ホールディングス・エヌイーホールディングスの連結化に伴い大幅増収
- ・学研教室の新設教室数が増え、新規会員は増加
- ・オンライン国語指導サービス「ことばパーク」の会員数伸張

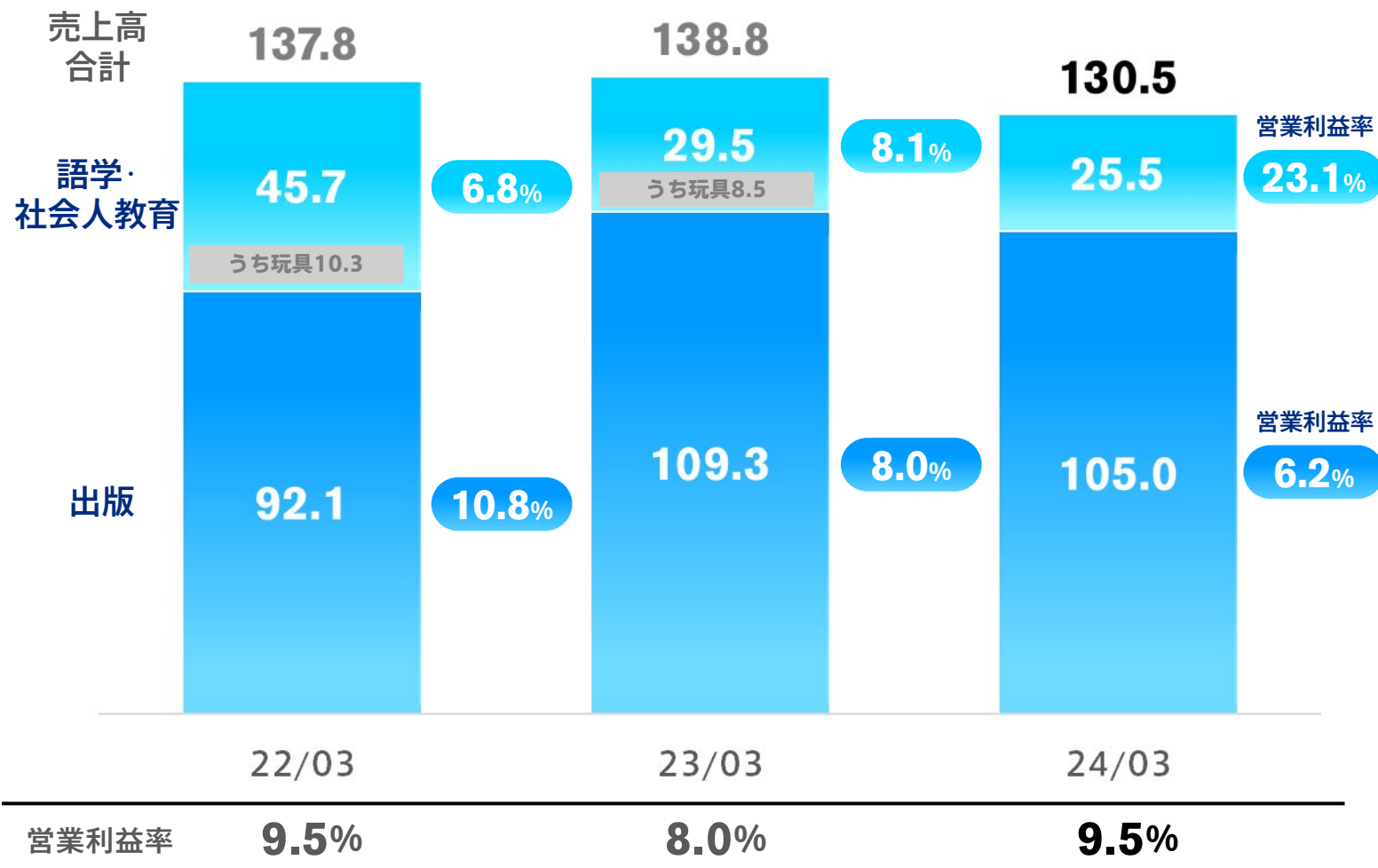
ネガティブ要素

- ・幼児教室会員数の伸び悩み
- ・受験競争緩和による通塾率の減少

*塾事業は市進ホールディングスの2024年2月期第3～4四半期（9～2月）の業績を取り込んでいます。

出版コンテンツ事業 第2四半期業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

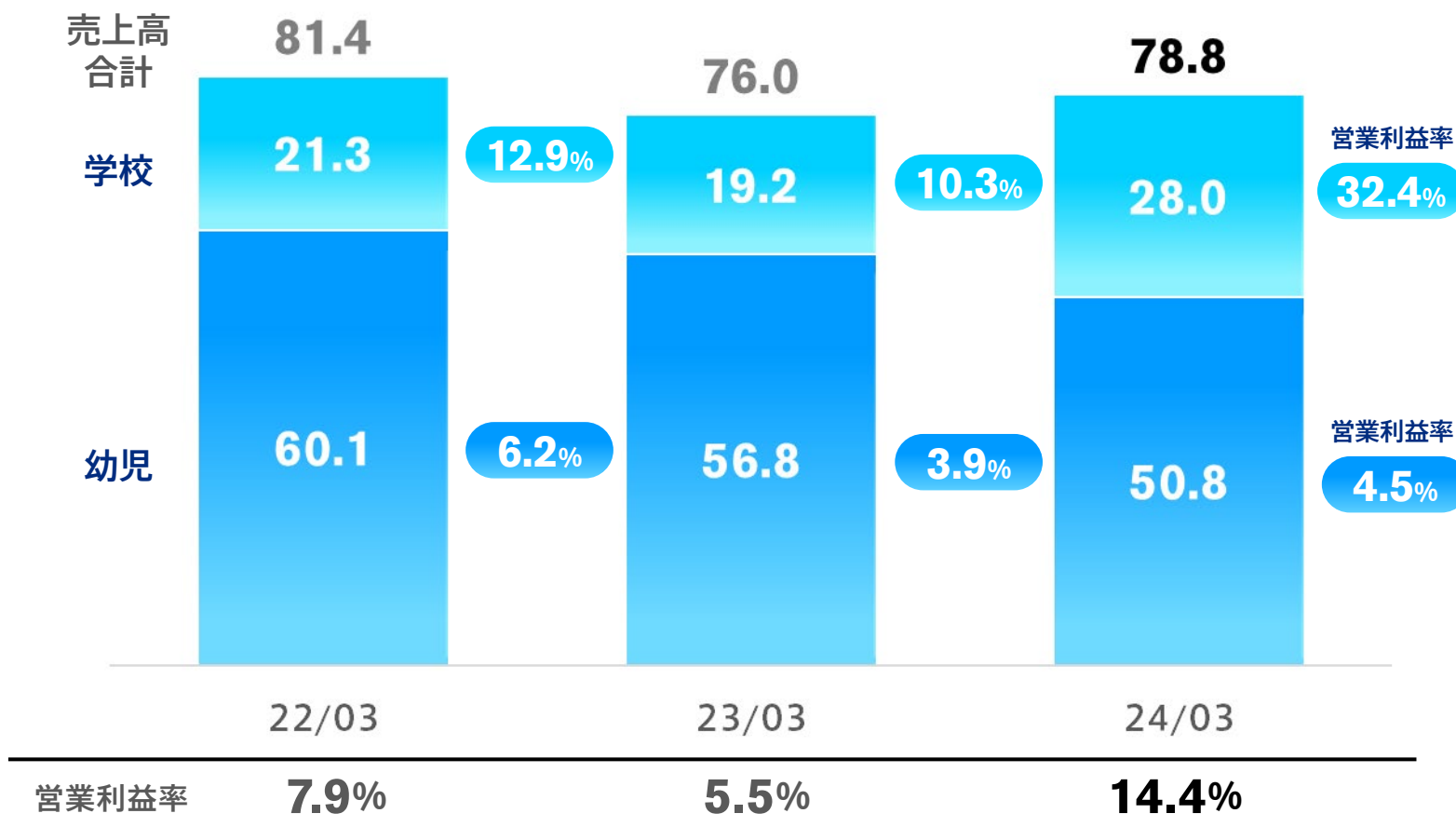
- ・「地球の歩き方」や「大人の科学」シリーズでヒット作
- ・看護師eラーニング事業の業績順調
- ・オンライン英会話事業好調
- ・企業向け研修の増収増益
- ・体験型英語学習施設においてコロナ理由でのキャンセル減少

ネガティブ要素

- ・書籍返品率は前期比で3.5%pt.悪化
前期：23.3% → 当期：26.8%
- ・児童書の販売低調
- ・玩具売上が連結対象外へ

園・学校事業 第2四半期業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・ 小学校向け教科書改訂に伴い、指導書や副読本販売部数が大幅に増加
- ・ 園児向け月刊誌・小論文添削事業が堅調に推移

ネガティブ要素

- ・ 新設園減少に伴い、園向け大型遊具・備品受注が低調
- ・ 補助金減少、需要低迷により先生向けエプロンなどオリジナル商品の販売不振

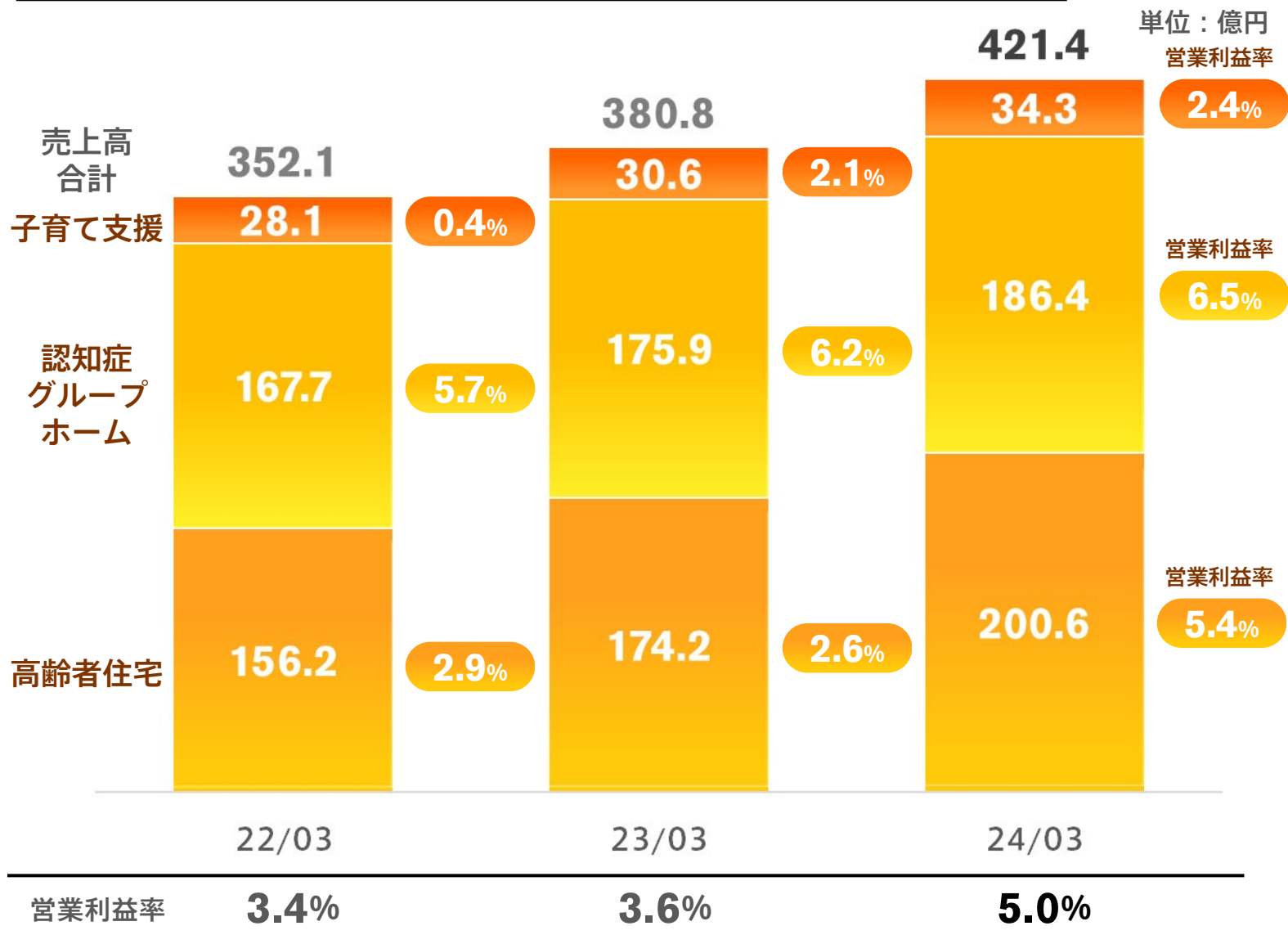
単位未満は切捨て

医療福祉分野 業績

3つの事業で少子高齢化の社会課題に挑み、多世代が安心して暮らせる街づくりを進めます。

- 1)高齢者住宅事業 … サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営
- 2)認知症グループホーム事業 …… グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営
- 3)子育て支援事業 … 保育園・子ども園・学童施設・児童発達支援施設等の企画・開発・運営

医療福祉分野 第2四半期業績サマリー



ポジティブ要素

- ・新規開設順調 (2Q累計)
→高齢者住宅 (+22事業所)
→認知症GH (+6事業所)
- ・入居率、充足率は高水準で推移
→高齢者住宅 97.4%
→認知症GH 96.7%
→保育所 95.9%

ネガティブ要素

- ・建設費高騰に伴う新規開設の先送りなど、一部オーナーの建設判断に慎重な動き
- ・食材費等物価高騰に伴うコスト増

Gakken2025 進捗



Gakken 2025 テーマ「SHIFT」

Gakken 2023

「揺るぎない成長基盤の確立」
—DX加速とグローバル展開—

教育

新たな学びの創出と
多様な学習機会の創出

医療
福祉

トップカンパニーを目指し
持続可能な街づくりに貢献

2021-2023

Gakken 2025 SHIFT

Gakken2023の積残し課題を解決し
新たなステージにはずみをつける

教育

重点領域の再強化と
新規事業への挑戦

医療
福祉

トップカンパニーに向けての
医療福祉事業の深化と
サステナビリティの追求

2024-2025

Gakken 2030 Aspiration

人の可能性を
どこまでも追求する会社へ

2026-2030

設立
80周年

Gakken 2025 基本方針のハイライト

「SHIFT」を実行中

1 ポートフォリオの入れ替えを
よりドラスティックに



- ・JPホールディングス社の全持分譲渡（89億円）による投資余力の確保
- ・資本投下含む業務提携を複数推進（Gakken LX・CVCによる投資2件）

2 強化領域の競争力向上



- ・市進HDを始めとした塾/教室のシェア拡大や出版事業の収益率が改善
- ・介護施設の新規開発を継続しながら過去最高の入居率を実現

3 新規事業開発の加速



- ・リカレント・リスキリングサービスの拡充（資格・語学）
- ・ベトナムDTP社を中心にグローバル事業の成長が継続

4 グループ収益の柱を
構築する戦略的M&A



- ・グランユニライフケアサービス社のM&A
- ・ビジネスアライアンス室新設による戦略領域へのソーシング強化

5 全社管理・間接コストの見直し強化



- ・離職率改善による採用費用圧縮
- ・グループ基幹システムの部分統一化を始動

6 人材投資・デジタル・
グローバル基盤投資の拡充



- ・新しいコーポレートアイデンティティのグループ内浸透
- ・グローバル事業/デジタルサービスを担う人材の育成と採用を継続

Gakken 2025 のグループ戦略

新たな挑戦
業界を
再定義する
戦略と行動

教育（世代・地域・多様性の拡大）

- ・学習コンテンツとサービスの多様化
- ・リカレント・リスキリング
- ・グローバル展開（グローバルサウス）

医療福祉（顧客接点の多面化）

- ・高付加価値モデル
- ・ウェルネスサービス
- ・誰一人取り残さないサービス

+

+

+

基礎的な
価値向上
勝つための
戦略と行動

コンテンツサービスを全世代へ、全世界へ

U-5	K-12	O-18
		Shikaku Pass CCLESSON

高品質な教材、備品を学校・園へ

デジタル教材	備品
ニューコース 学習システム	ニューワイド 学習百科事典

介護＋付加価値サービスの創出

設計・備品	食事	在宅調剤	訪問看護
SYS CARE CareStar	グリーンフード	ライクス	学研 Cocofump Nursing

+

+

+

リアルタッチポイント、どこよりも身近で信頼される存在へ

教室	オンライン	塾グループ	高齢者住宅	認知症グループホーム	子育て支援
学研教室 幼児/算数・数学/国語/英語	Gakken ON AIR ことばパーク	株式会社 創造学園 市進教育グループ	学研 Cocofump	愛の家	Gakken ほいくえん KLOCKA

↑

↑

↑

↑

↑

グループ
基盤の強化

グループ
アイデンティティの浸透

人的投資

デジタル基盤

管理業務基盤

財務基盤

教育分野の「新たな挑戦」

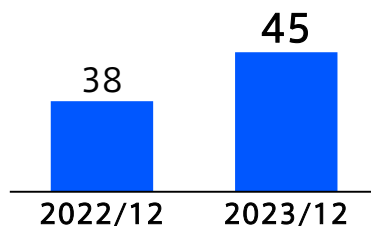
教育

グローバル事業の成長やO-18領域のラインナップ拡充が進捗

U-5	K-12	O-18
-----	------	------

ベトナム DTP社の成長

売上高実績 (単位: 億円)



2023年12月期の計画達成
(前年比+18%の成長)

為替前提: USD/VND24,820.00 : USD/JPY 150 : VND/JPY 0.0062

- ・ 幼児絵本やワークブック 40タイトル超の販売開始
- ・ 「学研の科学」や中国事業との連携へ本格的に着手

書籍販売事業

幼児向け書籍
(絵本・ワークブック等)

Schooling事業

STEAM教育

オンライン事業

学校・教員向け
サブスクサービス

- ・ さらなる関係深化についても継続協議

O-18領域の新サービス

サービス名称	現在の状況	今後の開発対象 (予定)
--------	-------	--------------

Shikaku-Pass



現在 4 講座
ローンチ済

ジャンル拡張や
講座拡充を進める

資格取得に関する
オンライン学習
サービス

- ・ 語学/対話スキル
- ・ 金融/資産形成
- ・ IT知識/ITスキル
- ・ 専門資格 など

FP 2・3 級

IP・FE

宅建

福祉関連

TOEIC

韓国語

FP

資産形成

IP・FE

AWS

Gakken LX



2 コース
を開発中

試験免除講習を実施
する国家資格を開拓

国家資格向け講習の
e-learning
サービス

ドローン監査

児童発達管理

100 超

教育分野の「基礎的価値向上」

教育

既存領域においても有望ニーズへの対応強化を継続

U-5	K-12	O-18
-----	------	------

エリア・コンテンツの拡充

教室・塾事業の
競争力向上

- ・大分県のライズ社グループイン
- ・非認知能力開発の取組強化
 - 学研教室のサービスコンセプト刷新
 - エナジード社との提携を通じた塾展開



グループ連携を伴う集客強化

kimini 英会話利用者数
25万人突破

- ・グループコラボ企画の積極実施
- ・kimini英会話アンバサダー新設



英語体験の楽しさ広がる

TOKYO GLOBAL GATEWAY
オンライン英会話コース by Kimini

上記の他、英検対策等含む全160コース

外国人スタッフ育成への対応

看護師e-learning
4ヶ国語字幕追加

看護補助者関連の付帯サービスで
英・越・尼・ネパール語へ対応

看護師の
特定行為研修 学研ナースングサポ
日本語アカデミー
ナースングメソッド

+ オプションサービス

”さらに発展的な講義を受けたい”の声に応える充実したテーマ 管理機能をもっと便利に!

講義映像が 4か国語字幕に対応!!
講義資料、テスト(問題・解答解説)は日本語ルビ付き

英語	ベトナム語	インドネシア語	ネパール語
Hello	Xin chào	Halo	नमस्ते

■公開予定 合計18セッション
2024年4月1日 6セッション、
8月 9セッション、10月 4セッション

■受講費用 4か国語合計
10,000円/月(税別)

中長期の飛躍を見据えた先行投資と事業開発を積極的に推進

高付加価値・大学連携CCRC

大学等の外部との連携を強化

大学連携複合施設
試験的多世代交流



高齢者のQOL向上へ向けた任天堂との協業



大学生向け介護キャリアイベントの開催

ウェルネスサービス

予防世代へのタッチポイントの構築

メディア・出版との連携
情報発信を強化



- ・ 月間300万PVの「健康ねっと」で1億回読まれた人気健康コラムを出版
- ・ オンラインとリアルの両面からタッチポイントを構築し、健康寿命の延伸市場へアプローチ

誰一人取り残さないサービス

児童発達支援ニーズの重視

保育・支援施設の運営実績
80拠点を達成
保育43/学童30/発達支援等8



- 顧客需要の高まりを踏まえて、
- ・ 児童発達支援施設「クロッカ」の開設や学童施設の新規受託を強化
 - ・ 小学生専門の通所型フリースクール「みらいゲート」など領域を多角化

医療福祉分野の「基礎的価値向上」

医療福祉

高入居率・充足率を維持した状態で展開エリアを拡大

アセット開発の進捗

積極的な新規開発を継続

高齢者住宅・認知症GH

28施設増加



ココファン嵯峨嵐山

高齢者住宅
2Q累計

+22件



愛の家GH相模原下九沢

認知症GH
2Q累計

+6件

M&Aの推進

介護、周辺分野の事業機会を拡大

当四半期末累計

5案件成立

介護事業の大型M&A JSBグループとの業務提携

学研HD



JSBグループ

介護施設運営
教育サービス

学生向け不動産の
開発・賃貸・管理

多様なニーズへの対応を見据えて、
交流機会創出などの地域課題の解決
に挑む介護事業子会社の譲受実施
(株)グランユニライフケアサービス

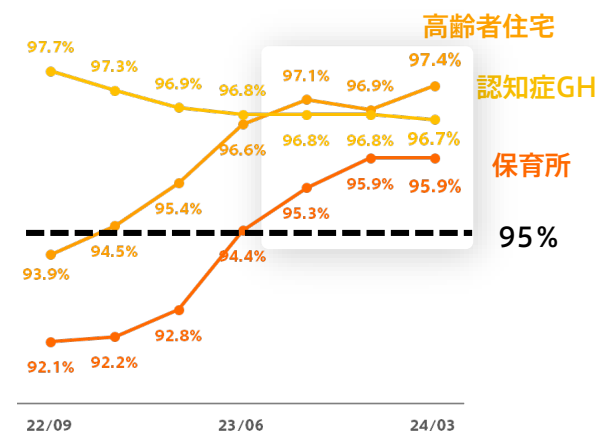
施設運営の現況

拠点が拡大する中でも高水準を維持

入居率・充足率

95%超を継続

入居率・充足率推移



グループ基盤 -組織の結束と進化を促進-

コーポレート

グループ全社のマインドセットと実行力の「SHIFT」を最重要視

SHIFTを担う人材の「意識変革」

コーポレートアイデンティティの浸透

HD経営陣によるグループ各社行脚

各社トップコミットメントの集約と進捗管理

社報/掲示物/社員証/資料フォーマットの刷新



社報



掲示物



社員証

SHIFTを実現する「組織能力」

全階層の育成・採用施策を推進

経営層のコンピテンシー強化（経営道場）

幹部候補の育成（G-LEADERS）

HD・LEAPをハブとした採用強化

グローバル

DX・BX

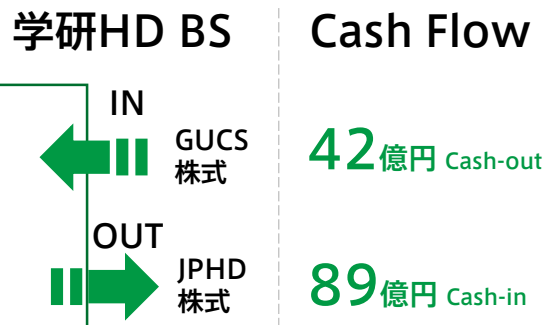
コーポレート

戦略会社を軸とした
グループ採用の強化
(HD・LEAP他)

資本効率の向上に向けて、良質な投資機会の探索および構造改革を並行

M&A/ポートフォリオ

ポートフォリオの組換



投資推進の体制整備を加速

- ・ ビジネスアライアンス室の新設
- ・ 30件超のショートリスト刷新
- ・ ソーシング・検討基準の明確化

業務改善/コスト削減

デジタル戦略の再整理

HDが主導するテーマ

顧客体験の見直し (ex.ID戦略)

デジタルガバナンス・BCP向上

コスト構造の改革・データ活用

採算意識向上を各所で観測

- ・ 管理コストの億円単位での削減
- ・ コンテンツ投資対効果の精査進行
- ・ システム投資優先順位の再整理

資本コスト/株主還元

自己株式取得

約20億円

2024年2月に取得完了
株価トレンド転換に寄与

ステークホルダーを一層重視

- ・ 株式取得による株主還元
- ・ 配当性向・還元方針の精査
- ・ 持続可能性やD&Iに関する取組

2024年9月期 下期のフォーカスポイント

当期計画の達成と翌期のさらなる成長に向けた「種蒔き」へ注力

教育

注力領域の成長加速

- ・リカレント/リスキリング
- ・グローバル/語学事業

教室/塾の拠点競争力向上

- ・生徒募集の強化
- ・提供サービスの拡充

園・幼児向け事業の変革

- ・業績改善に向けた各種施策
- ・構造改革の加速

医療福祉

施設開発計画の遂行

- ・高齢者住宅/認知症GH
- ・保育施設/児童発達支援施設

周辺領域の事業開発

- ・ウェルネスサービス
- ・ライフエンディングサービス

人材獲得/離職率の改善

- ・介護士などの医療福祉人材
- ・保育士などの子育て支援人材

コーポレート

成長投資判断の適正化

- ・サステナブルな成長に向けたM&A実行

ポートフォリオの変化継続

- ・資源分配の最適化
- ・事業推進体制の見直し

グループ経営人材の充実

- ・注力領域推進時の中核人材
- ・新たな挑戦を担うリーダー

Gakken 2025 計画数値

単位：億円

計画数値に変更なし

連結	2023年9月実績	2024年9月計画	2025年9月計画
売上高	1,641	1,850	2,000
教育分野	795	920	980
医療福祉分野	786	870	940
その他	60	60	80
-----	-----	-----	-----
営業利益	62	64	70
教育分野	39	49	59
医療福祉分野	38	42	46
その他（含む調整額）	-16	-27	-35
EBITDA	93	96	103
経常利益	65	66	72
当期純利益	32	27	35
ROE	6.3 %	5.2 %	6.6 %

Gakken 2025 計画数値

単位：億円

計画数値に変更なし

セグメント 事業	2023年9月期		2024年9月期		2025年9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
教育分野	795	39	920	49	980	59
教室・塾	351	18	520	22	540	29
出版コンテンツ	308	23	265	28	320	32
園・学校	136	0	135	2	120	1
のれん	—	-2	—	-3	—	-3
医療福祉分野	786	38	870	42	940	46
高齢者住宅	360	19	420	23	460	26
認知症グループホーム	363	23	385	23	410	24
子育て支援	62	1	65	1	70	1
のれん	—	-5	—	-5	—	-5
その他	60	4	60	3	80	5
調整額	—	-20	—	-30	—	-40
グループ合計	1,641	62	1,850	64	2,000	70

Gakken 2025 期間中の株主還元方針

計画数値に変更なし

株主還元の基本方針

配当性向 30%以上

自己資本比率を踏まえた機動的な株主還元

2024年9月期の還元方針

自己株式取得（20億円）実施済

年間配当金 25円

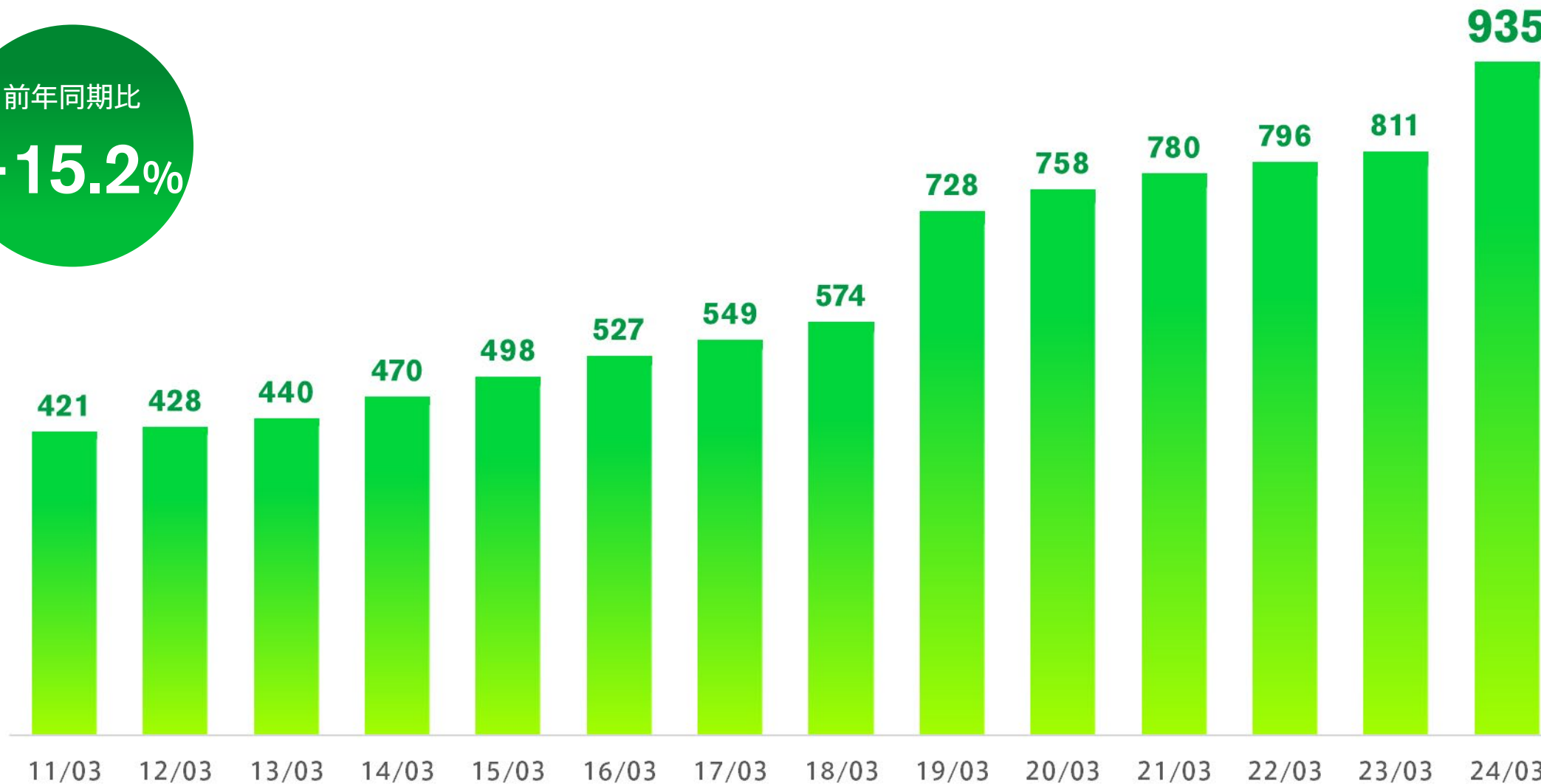
決算補足資料

A large, vibrant green brushstroke graphic that starts from the bottom left and sweeps upwards and to the right, ending near the top right corner of the slide. It has a textured, painterly appearance with varying shades of green.

第2四半期 売上高 推移

単位：億円

前年同期比
+15.2%

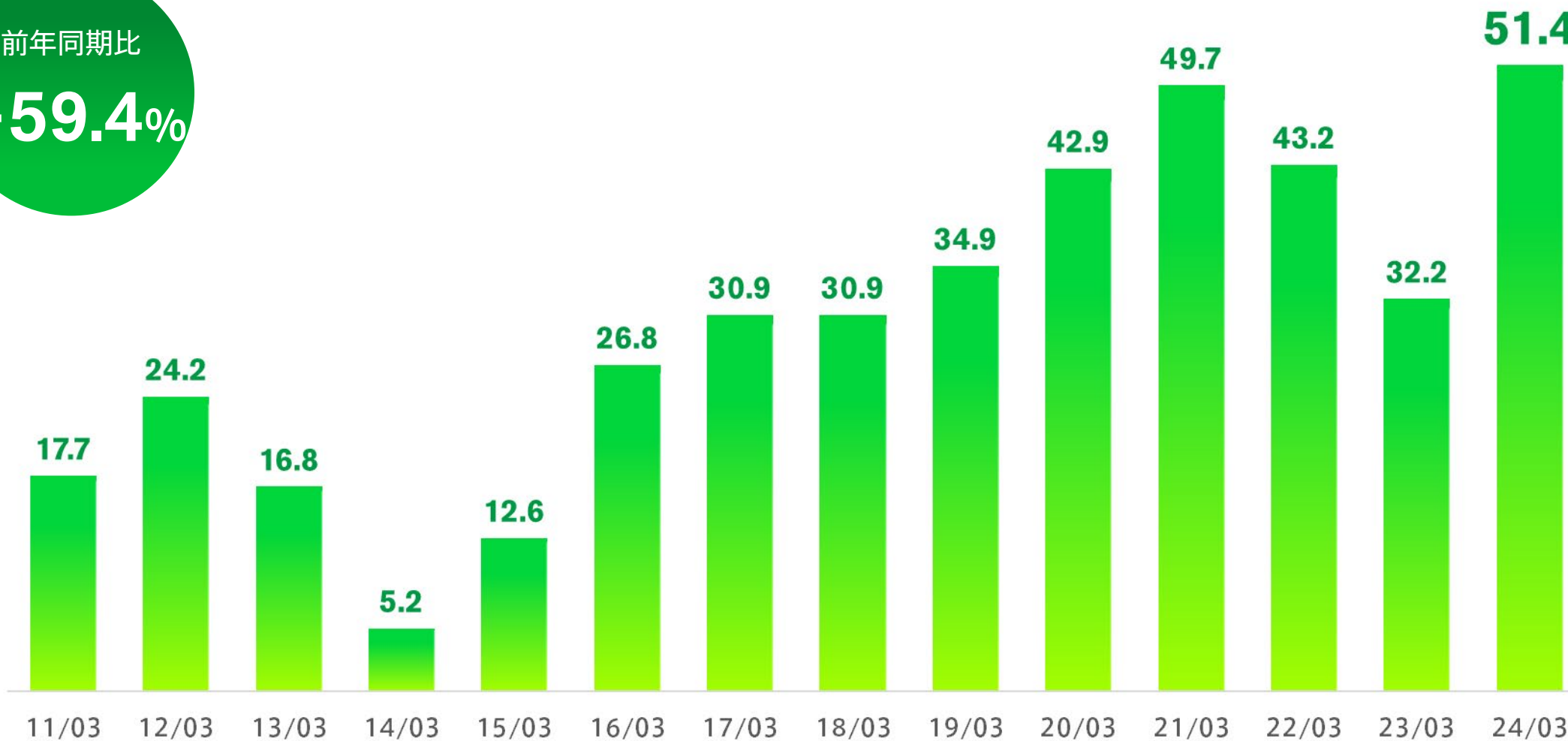


単位未満は切捨て

第2四半期 営業利益推移

単位：億円

前年同期比
+59.4%

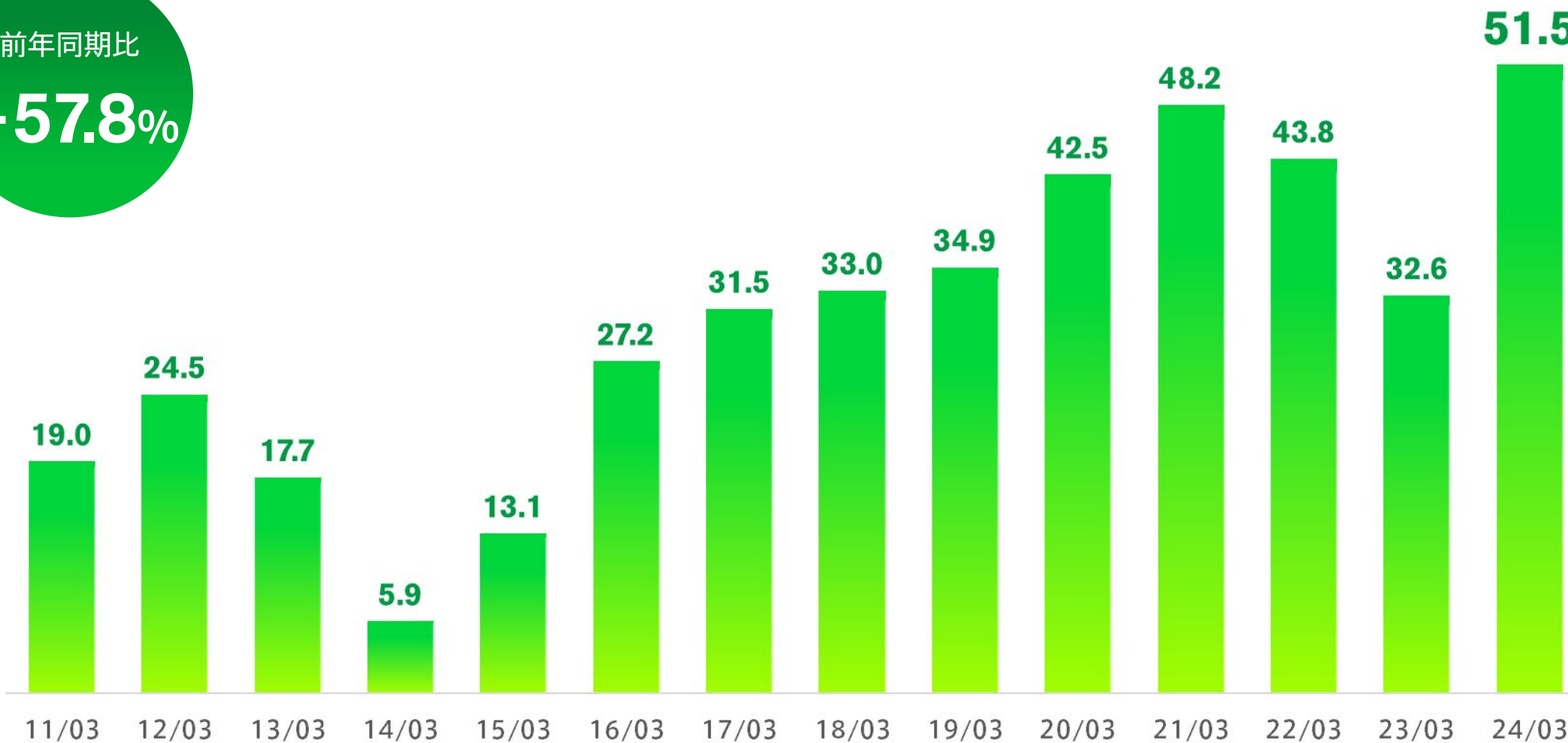


単位未満は切捨て

第2四半期 経常利益推移

単位：億円

前年同期比
+57.8%

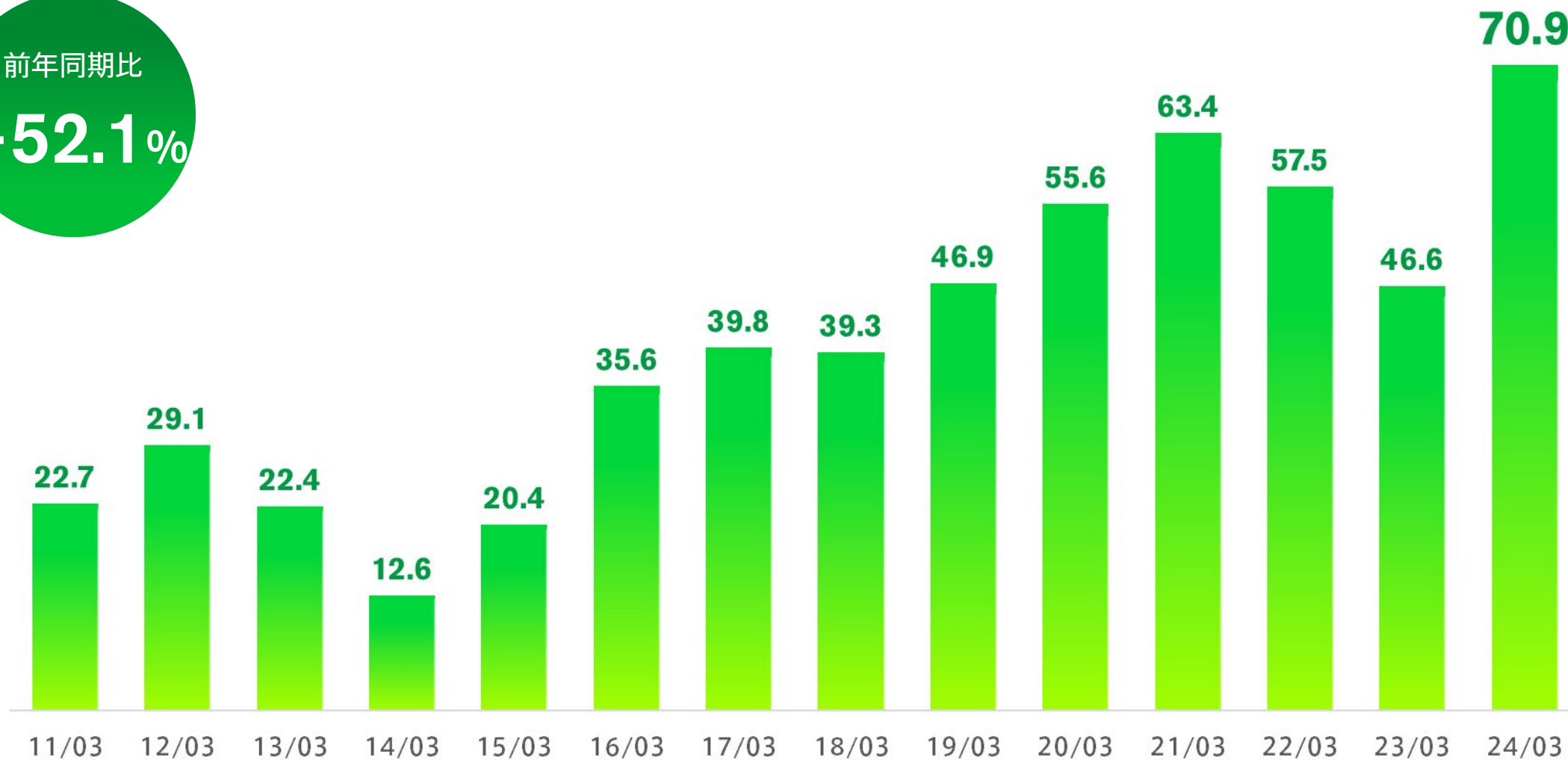


第2四半期 EBITDA[※] 推移

※営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算

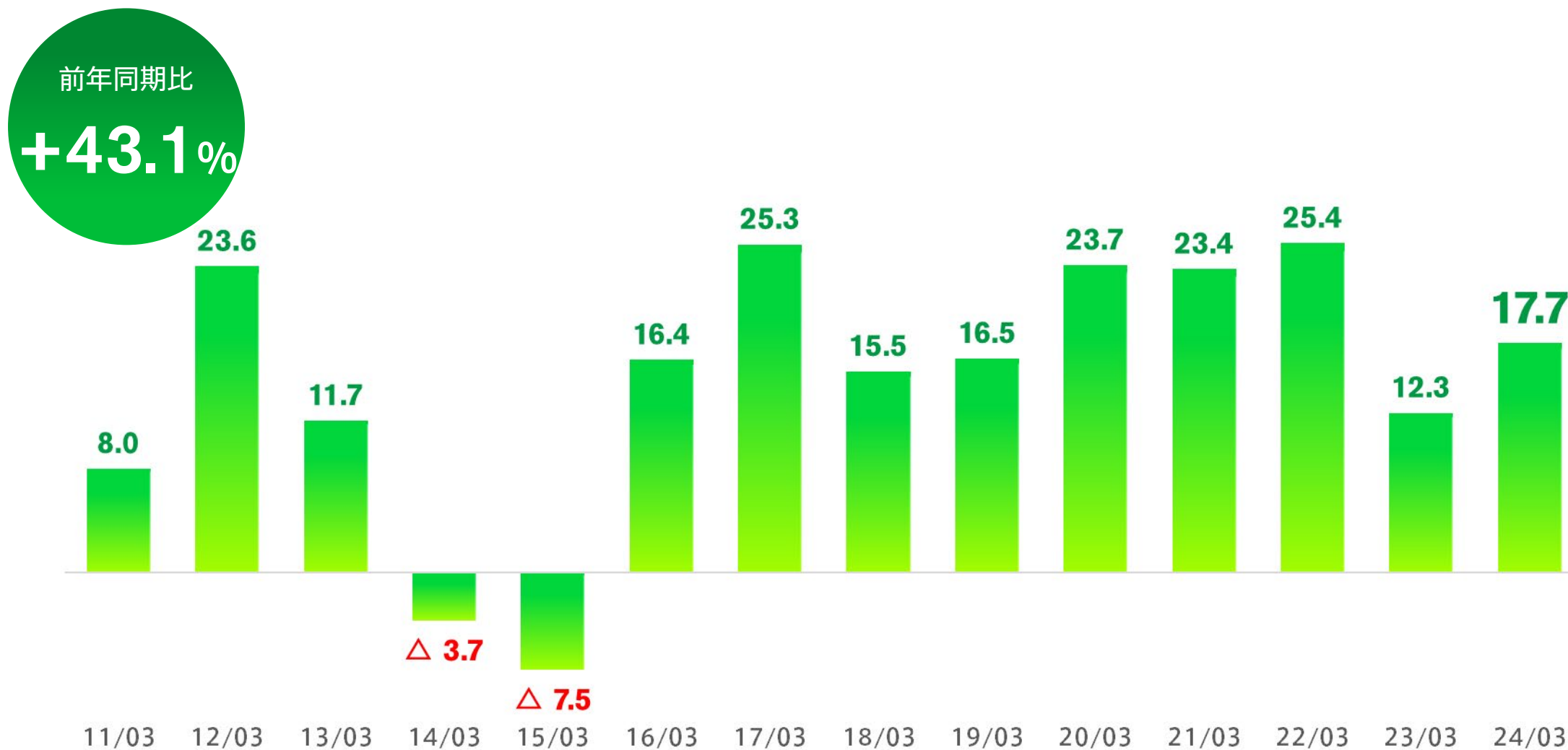
単位：億円

前年同期比
+52.1%



第2四半期 四半期純利益推移

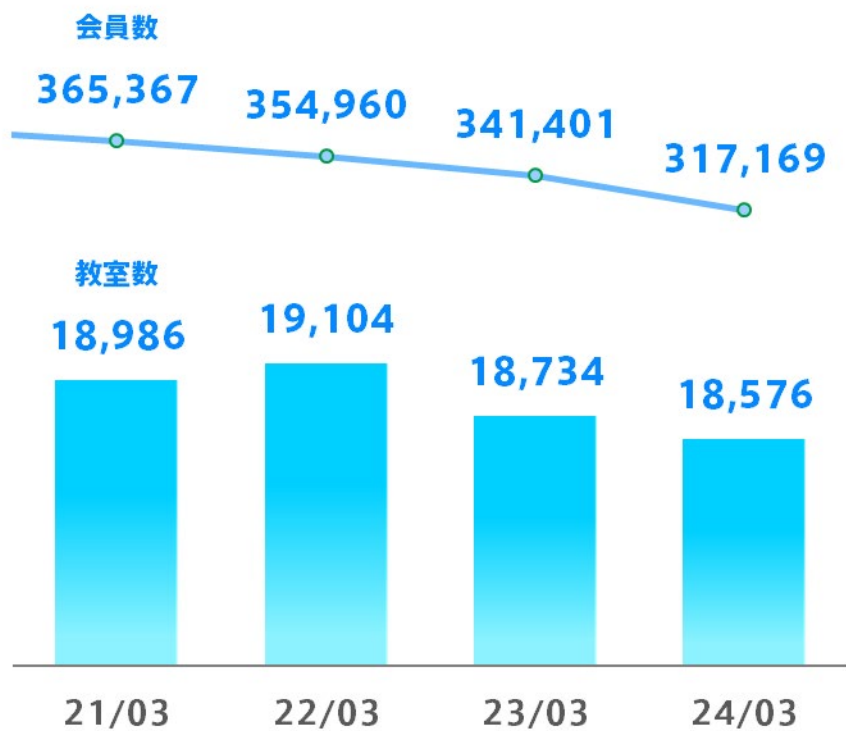
単位：億円



教室・塾事業 会員数・教室数

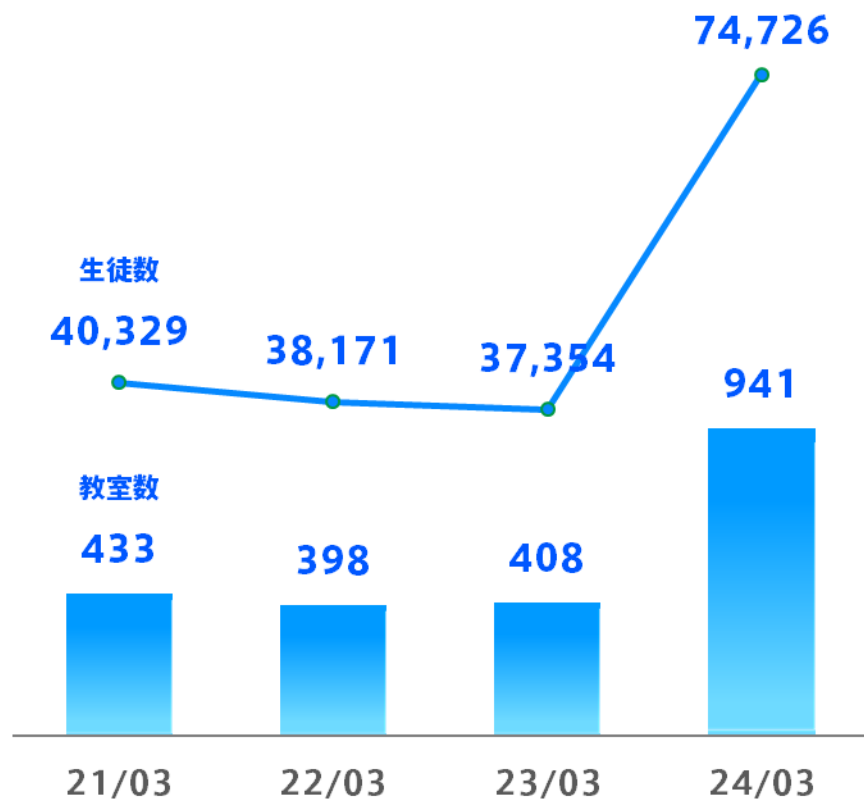
教室事業では、幼稚園設置型やショッピングセンター内教室数が増加し新規会員は回復するも、年度変わりでの退会者も多く、2Q末では会員数減少。塾事業は市進ホールディングス・エヌイーホールディングスのグループインにより生徒数、教室数とも増加

教室



※会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。

塾



※2023年5月に(株)エヌイーホールディングスがグループイン
※2023年7月に(株)市進ホールディングスを連結化

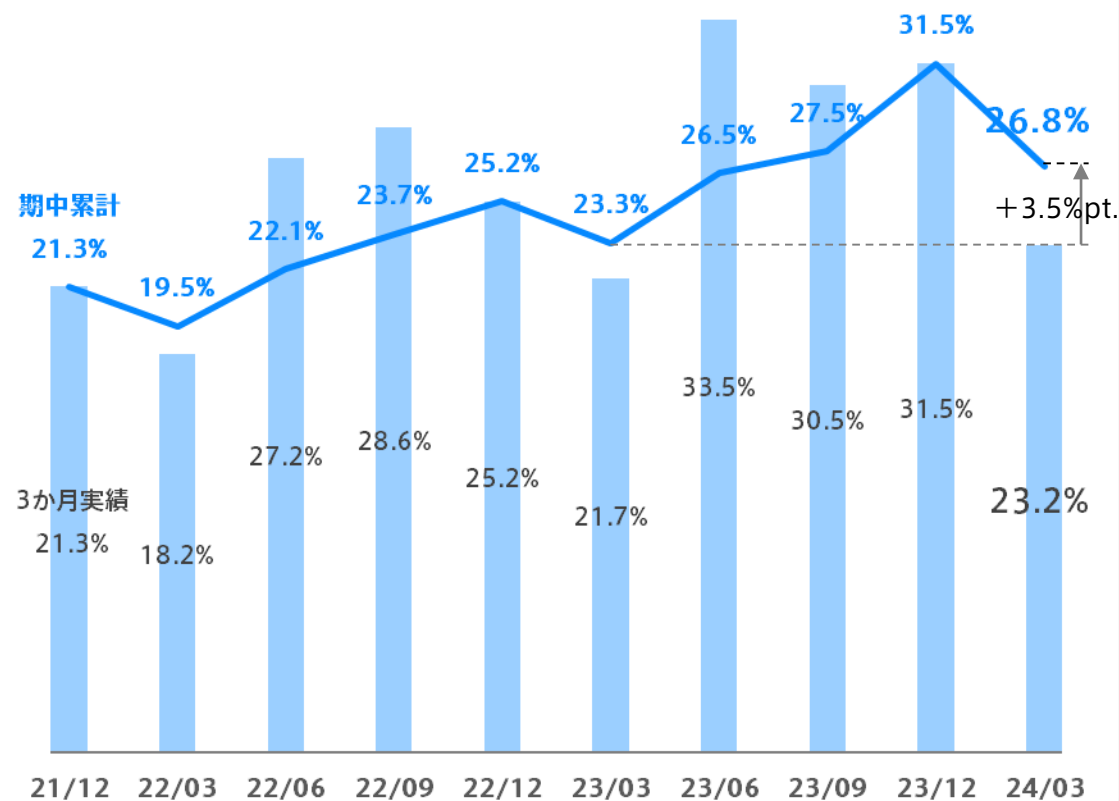
出版事業 書籍新刊点数／返品率*

学習参考書を中心に発刊点数をコントロールし累計返品率は第2四半期に改善傾向にあるも、前年比+3.5%pt.と高い水準

書籍新刊点数（期中累計）

	22/3	23/3	24/3
児童書	99	82	97
学習参考書	94	97	79
実用書	85	123	109
ムック	16	13	21
その他書籍	71	80	78
合計	365	395	384

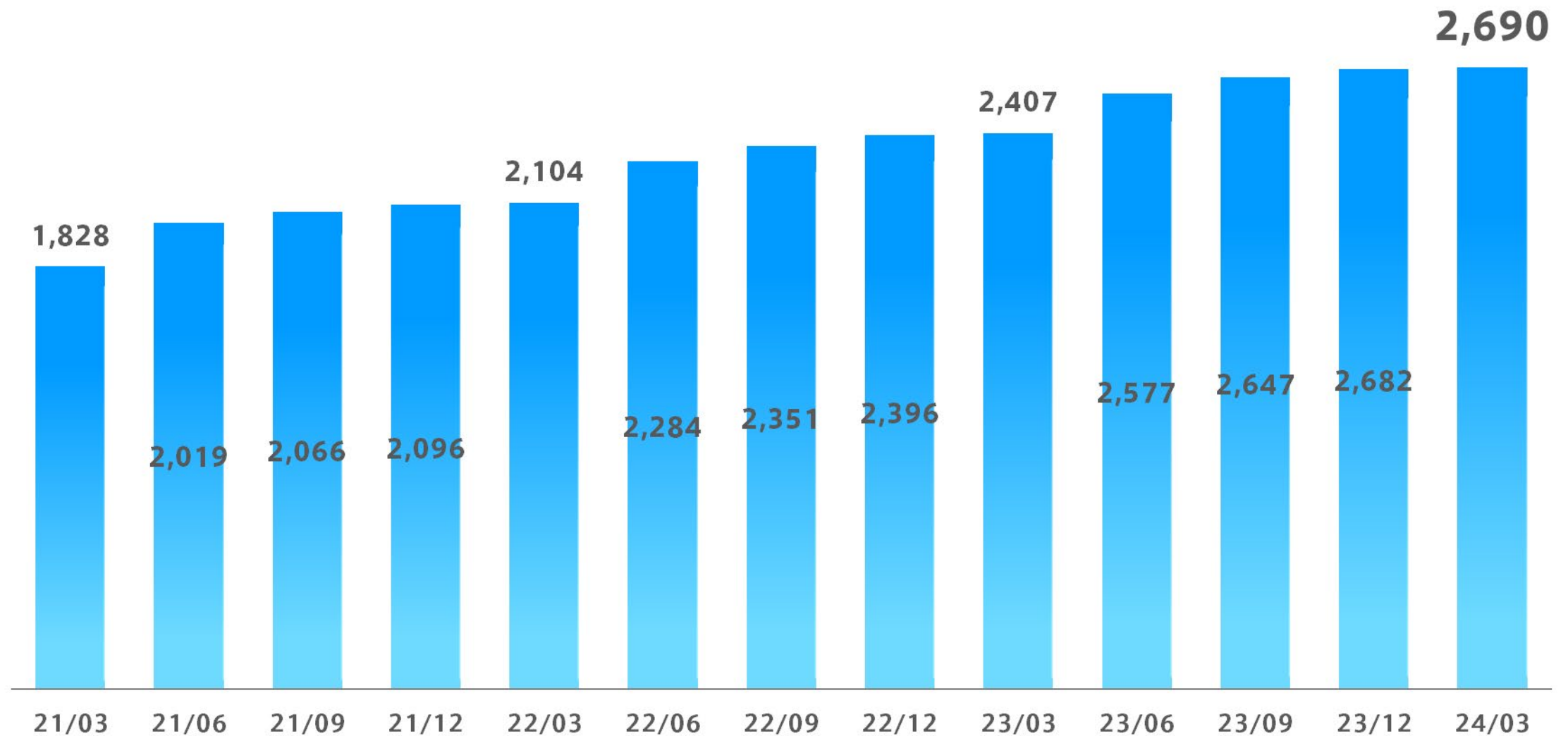
書籍返品率



*書籍（雑誌は含まず）新刊点数及び書籍返品率は、（株）Gakken と（株）地球の歩き方の合算です。

語学・社会人教育事業 看護師eラーニング契約病院数

前年同期比で283病院増加。新年度利用開始により3Qが増加するタイミング



学校事業 教科書改訂スケジュール

△ 検定：文部科学省の調査（教科書としての適正性）

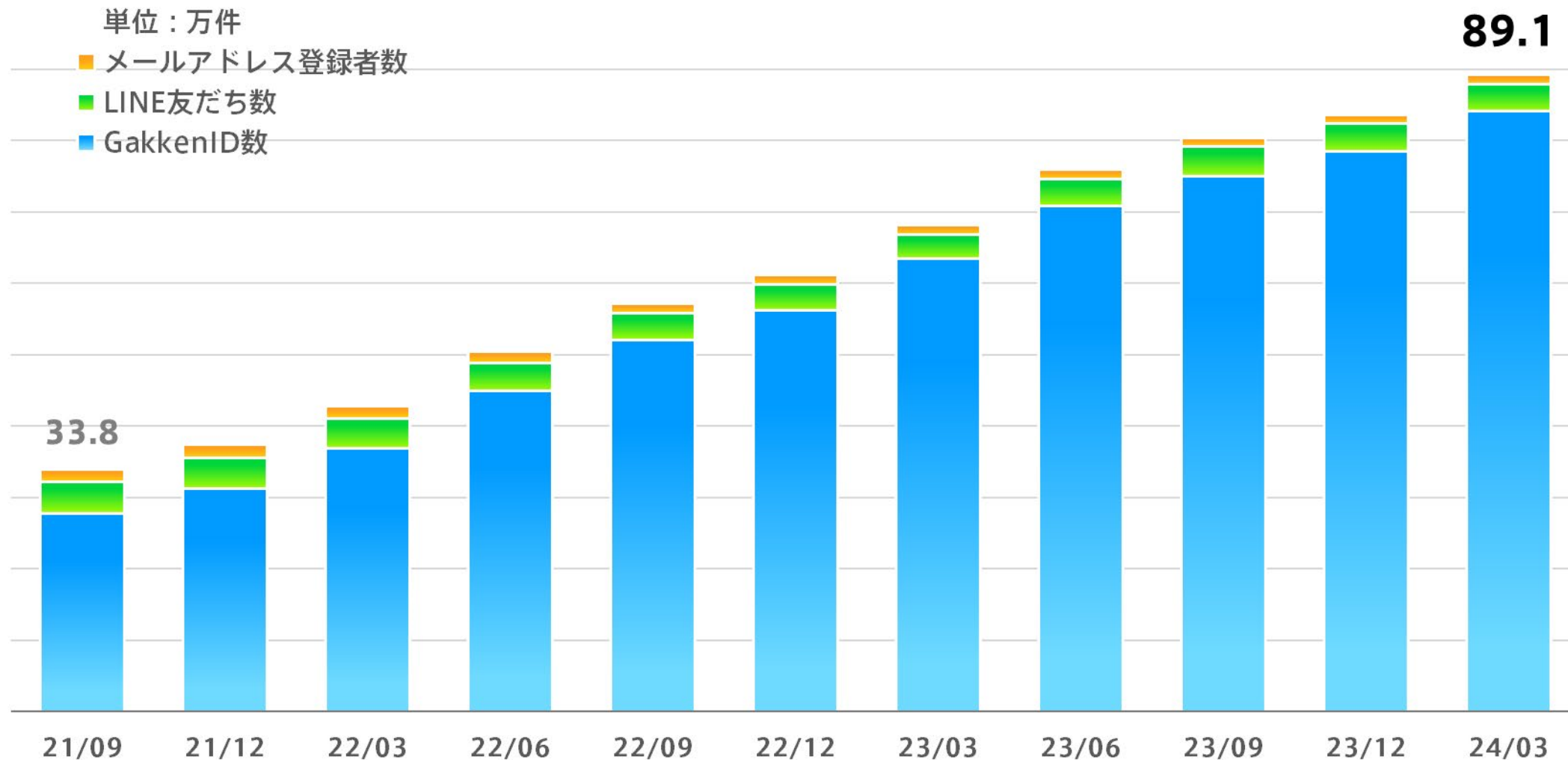
● 採択：所管の教育委員会による教科書の決定

◎ 使用開始：各学校に供給し、児童生徒へ

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
小学 保健		△	●	◎	
中学 保体	◎		△	●	◎
小学 道徳		△	●	◎	
中学 道徳	◎		△	●	◎

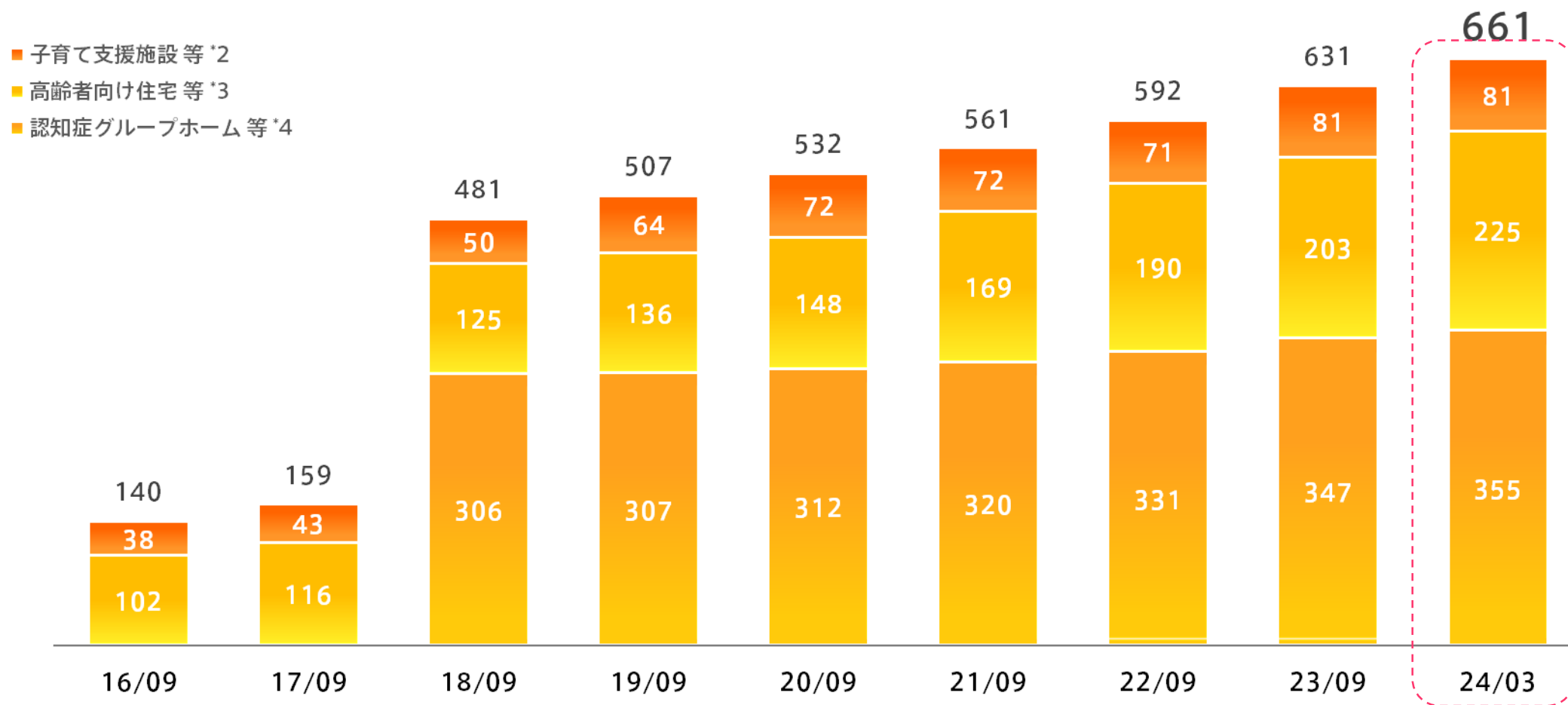
DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント

サービス毎のID取得合計数は90万到達目前に。サービス間の連携を進め、顧客LTV向上を目指す



医療福祉分野 拠点数推移^{*1}

毎年20～30か所のペースで施設数を増加中



*1 記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。海外拠点を含み、(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。

*2 保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、学習支援施設の合算。

*3 サービス付き高齢者向け住宅の他に、訪問介護ステーションなど他区分拠点を含みます。2023年11月に事業譲受したグランユニライフケアサービス社の拠点は、当第2四半期より合算。

*4 認知症グループホームの他に、特定施設、小規模多機能型居宅介護拠点など他区分施設を含む。

医療福祉分野 開設^{*1}計画と進捗

第2四半期末までで、高齢者住宅と認知症グループホーム合計28拠点開設し、積極的な新規開設ペースを継続
子育て支援施設は4月以降に学童と児童発達支援施設で10か所新設予定

単位：開設数

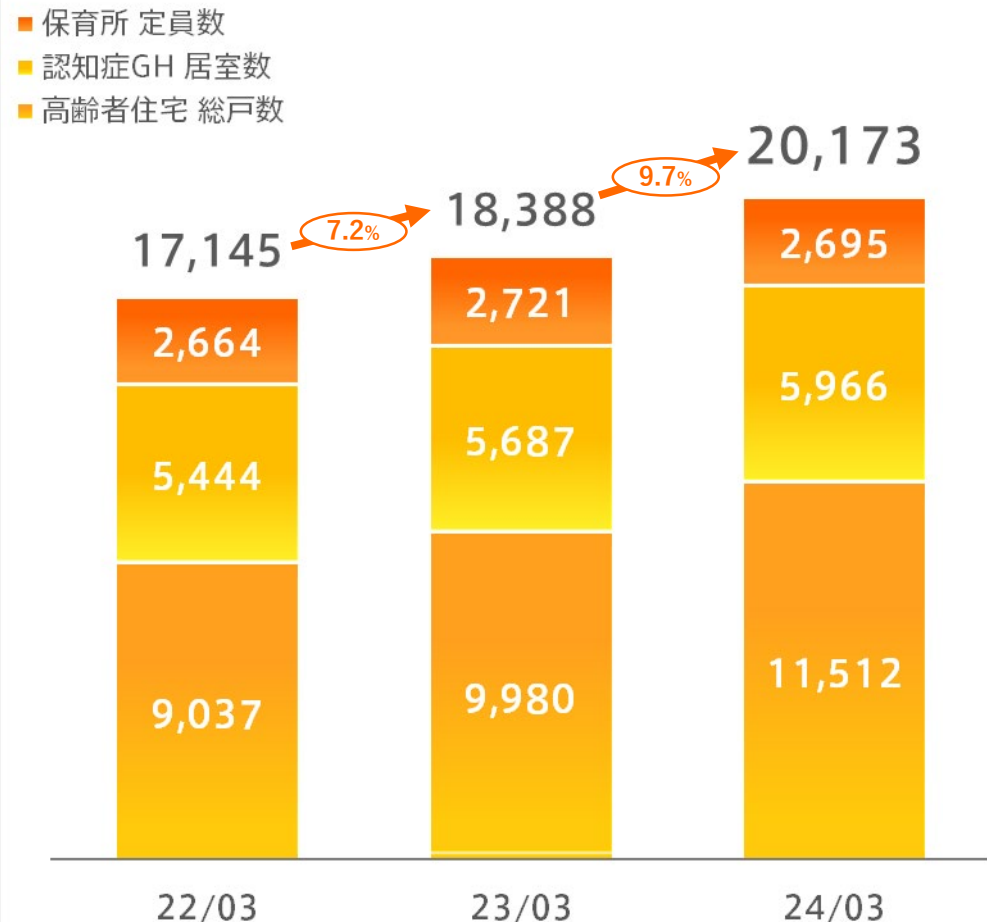
	2023/9期	通期計画	2024/9期	
	前期開設実績		2Q実績	対通期計画進捗
高齢者住宅	13	28	22 M&A17件	78.6%
認知症 グループホーム	15	14	6 M&A2件	42.9%
子育て支援施設 ^{*2}	10	13	0	0.0%
合計	38	55	28	50.9%

※1 国内拠点のみの数値です。同期間の閉鎖数を差し引いておりません。(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。

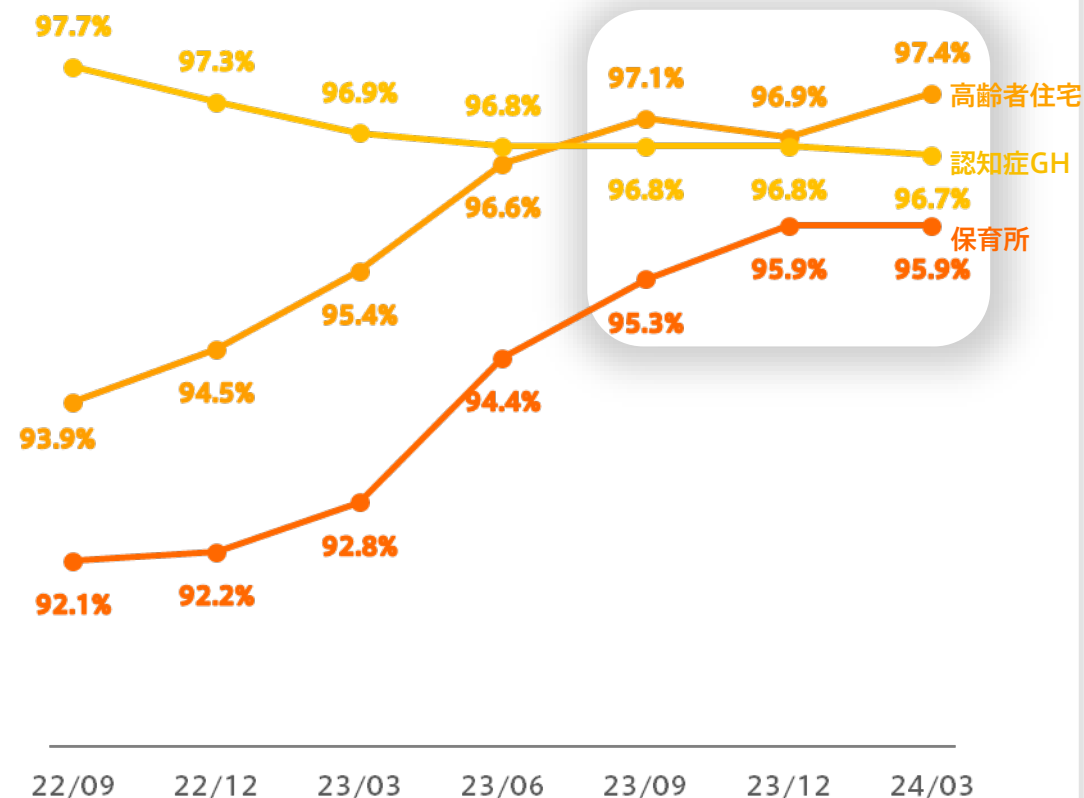
※2 保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、学習支援施設の合算です。

医療福祉分野 キャパシティと稼働状況

総戸数・居室数・定員数推移



入居率・充足率推移



医療福祉分野 入居率・充足率

		20/09	21/03	21/09	22/03	22/09	23/03	23/09	24/03
高齢者住宅	総戸数	7,182	7,632	8,308	9,037	9,665	9,980	10,361	11,512
	入居数	6,600	6,985	7,505	8,345	9,073	9,519	10,062	11,210
	入居率	91.9%	91.5%	90.3%	92.3%	93.9%	95.4%	97.1%	97.4%
認知症 グループホーム	居室数*1	5,246	5,246	5,372	5,444	5,570	5,687	5,858	5,966
	入居率	98.0%	98.0%	97.8%	97.6%	97.7%	96.9%	96.8%	96.7%
子育て支援施設	定員数*2	2,788	2,788	2,661	2,664	2,721	2,721	2,695	2,695
	園児数	2,381	2,389	2,443	2,441	2,505	2,524	2,568	2,585
	充足率	85.4%	85.7%	91.8%	91.6%	92.1%	92.8%	95.3%	95.9%

*1 認知症グループホームの居室数に他区分施設の居室数は含まれません。

*2 子育て支援施設の定員数は保育所のみです。

今日、いくつ挑戦した？
Gakken

株式会社 学研ホールディングス

本資料には、事業計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。従って、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おき下さい。